

ここが聞きたい 一般質問

市長 現在、胆沢区で34本の井戸が枯れていて、ある程度使うとなくなる状況にあることを把握しています。衣川区の大森では、沢水をひいて生活用水としているが、山などに亀裂が入り、水がこなくなった世帯が4世帯あります。地下水脈の調査には多くの時間

住宅の建設については、胆沢区の場合8戸と極端に市営住宅が少ない状況であり集落全体一箇所に住めるようにできるかどうかも含めて、財政上の問題など総合的に検討していきます。

質問 井戸水の枯渇に対し、ボーリングや上水道への接続に対する支援策を講じるべきではないか伺います。



仮設住宅（胆沢区愛宕）

と経費がかかることから、個別に聞き取りを行い、他との均衡を勘案しながら、どのような支援策があるか検討し、第三次の義援金配分に入れていきたいと考えます。

市長 収納状況は10月末で一般会計現年度分、昨年度同期で1億9千万円ほど、上回っております。滞納繰越分については2千万円ほど上回っております。収納率向上対策の取組みについては5月に三役、部課長による一斉訪問催告を実施、11月には税務三課及び国保事業担当課が新規滞納者を対象に訪問催告を実施しました。また夜間相談の実施や年末から年明けには不動産公売や家宅搜索差押え物件のインターネット公売を行う予定であり、市民負担の公平を期して一層努力します。

質問 市税等の未納額が20億円を超える額になっています。今年度の収納の状況と見込み、収納率向上の取組みについて伺います。

市長 収納状況は10月末で一般会計現年度分、昨年度同期で1億9千万円ほど、上回っております。滞納繰越分については2千万円ほど上回っております。収納率向上対策の取組みについては5月に三役、部課長による一斉訪問催告を実施、11月には税務三課及び国保事業担当課が新規滞納者を対象に訪問催告を実施しました。また夜間相談の実施や年末から年明けには不動産公売や家宅搜索差押え物件のインターネット公売を行う予定であり、市民負担の公平を期して一層努力します。



みやけ まさかつ
三宅 正克
議員

○市税等収納率向上対策について
○浄化槽設置に係る側溝等整備について



道路側溝整備が待たれる市道草井沼・中島線

市長 地域事情等を考慮し側溝等排水路の整備を検討も必要と思います。

質問 水路や側溝等排水路もなく地下浸透方式の排水も出来ない地域で浄化槽を普及するには側溝等排水路を整備するべきだと思いますが市長のご所見を伺います。

市長 後期高齢者医療制度に移行したことで国保税の調定額、収納額とも大きく減少しております。企業の中途退職者、非正規雇用者が増えていること等により収納率も落ちてきていると思われ、一層の納税督促が必要と考えます。

質問 国保税について後期高齢者医療制度に移行したことによる収納率への影響を伺います。

市長 13路線4万平方メートル強は整備を終えたが、今後の総合計画で整備する予定地は33路線14万平方メートル強となっている。残る路線については、道路利用状況を勘案し総合計画見直しの際検討する。今後の道路整備については、副県都の構築を目指す中で、幹線道路など基幹的な道路ネットワーク整備と通学路など生活に密着した道路を重点的に進めたい。今後計画される基盤整備についても、これに沿って進めることとなります。

質問 基盤整備に伴う創設用地は、市内全体で予定地を含め57路線23万平方メートル強あるが、整備計画を基本的にどのよう考えるか。特にも以前には舗装されていたところ、通学路や狭い危険な箇所など優先順位を決め整備を進めるべきと考えますが伺います。

市長 13路線4万平方メートル強は整備を終えたが、今後の総合計画で整備する予定地は33路線14万平方メートル強となっている。残る路線については、道路利用状況を勘案し総合計画見直しの際検討する。今後の道路整備については、副県都の構築を目指す中で、幹線道路など基幹的な道路ネットワーク整備と通学路など生活に密着した道路を重点的に進めたい。今後計画される基盤整備についても、これに沿って進めることとなります。



すがわら さとし
菅原 議員

○創設用地の基本的考え方について
○機密情報の管理について

ます。道路管理、浄化槽設置の普及等を勘案し検討いたします。